

障がいのある子どもたちのために

『第29回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン』



# 29th TOKYO YMCA International Charity Run



## 2015年度 報告書

【日 時】 2015年9月23日（水・祝）10:00～14:30

【会 場】 木場公園（東京都江東区）

【参加チーム】 65チーム

【ランナー数】 420人

【こどもラン参加者】 約650人（幼児とその保護者、小学生）

【運営ボランティア】 300人（スタッフ含む）

【応援等含む参加者合計】 約1800人

【支援金総額】 6,462,257円

【主 催】 公益財団法人東京YMCA

東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン実行委員会

【共 催】 YMCA国際賛助会（FCSC）

【全国協賛】 三菱商事株式会社、富士通株式会社、ステート・ストリート・コーポレーション

【後 援】 内閣府、厚生労働省、全国社会福祉協議会、東京都、江東区

【協 力】 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区・在京ワイズメンズクラブ

東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン事務局

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 Tel. 03-3615-5568

URL : <http://tokyo.ymca.or.jp/charityrun/charityrun.html> e-mail : [kaiin@tokyoymca.org](mailto:kaiin@tokyoymca.org)

## ごあいさつ

今年もまた、多くの方々にご支援いただき、「第29回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン」を無事に開催することができました。ご参加・協賛くださった皆様に心より御礼申し上げます。

今年は65チーム、420人のランナーと伴走者が出場くださったほか、競技前に行なわれた「こどもラン」には650人を超す親子が参加されました。天候にも恵まれ、たくさんの方々が応援にかけつけてくださり、会場は1800を越す人で賑わいました。

ご存知のように「YMCAインターナショナル・チャリティーラン」は、障がいのある子どもたちを支援すると共に、障がいへの社会的関心を高めることを目的とした駅伝大会で、1987年に始まり、今年29回目となりました。現在は全国18カ所のYMCAで行われており、5000人以上のランナーが参加。オリンピックメダリストの有森裕子さんが全国大会委員長を務めています。

東京大会の参加費は1チーム10万円。それぞれ社内で募金をしたり社費などを活かして参加くださっています。大会では障がいのある方も一緒に走ります。支援する人も支援を受ける人も一緒に楽しむこともまた、特徴の一つとなっています。

物品のご支援も多数いただきました。ランナーやボランティアにはパンや飲み物が提供された他、賞品や抽選会の景品として、日用品、宿泊券、航空券など、各種の品が寄せられ、抽選会も大いに沸きました。大会の運営は、300人のボランティア・スタッフが担いました。会場の設営、受付、コース誘導、模擬店、抽選券販売、トレーナーブースなど、それぞれのご活躍によって、安全で楽しい大会を行うことができましたことを、感謝してご報告します。

来年は30周年を迎えます。ぜひまた会場でお目にかかれることを楽しみにしております。



↑会場設営やコース誘導、模擬店、受付などのため、学生や企業社員、ウイズメンズクラブなど300人のボランティア・スタッフが活躍しました。



↑オープニングは東陽町ウエルネスセンターの子どもたちによるチャリティーダンス



↑伴走者とともにいっぱい走りました。



1位 富士通株式会社「走務会1」の皆さん



2位 三菱商事株式会社「Team Monroe Walk」の皆さん



3位 しのめYMCAこども園「しのめ レッド」



4位 富士ゼロックス端数倶楽部「侍ゼロックス」の皆さん



「コスチューム賞」株式会社クッキータイム・ジャパンの皆さん



↑支援金目録授与



本物の車に自由に絵やメッセージを描くコーナーが登場しました。子どもたちだけでなく、大人も一緒に、思い思いのメッセージを描きました。この車はチャリティーラン終了後、1週間、東京YMCAの玄関に展示されました。